

Citrix Presentation Server環境におけるプリンタドライバ機能制約について

2007年9月20日
カシオ計算機株式会社
国内営業統轄部

平素より弊社製品をご利用いただきありがとうございます。

Citrix Presentation Server環境におけるプリンタドライバの現在の最新バージョンでの機能制約について下記の通りご案内致します。

1 動作確認環境

[サーバ]

Windows 2003 Server 日本語版 + Citrix Presentation Server 4.5/4.0

[クライアント]

- (1) Windows XP 日本語版 + Citrix ICA Client 32bit Ver10.1 日本語版
- (2) Windows Vista(x86) 日本語版 + Citrix ICA Client 32bit Ver10.1 日本語版
- (3) Windows XP x64Edition 日本語版 + Citrix ICA Client 64bit Ver10.1 日本語版
- (4) Windows Vista(x64) 日本語版 + Citrix ICA Client 64bit Ver10.1 日本語版

2 対象プリンタ機種

確認対象機種	プリンタドライバのバージョン
N6000、N5300、N5100、N5II、N5、N4-614、 CP-E8500、CP-E8000	Win2000/XP/Server2003/Vista対応ドライバ Ver6.60 (x86/x64)

3 機能制約事項

① 共通機能制約

- ・ REPORT HOLDER(プレビュー&レイアウト)機能やコピーガード機能など外部プログラムをご利用頂くことができません。
- ・ クライアントOSが、WindowsVista(x86/x64)の場合、AutoCreateプリンタにて親展印刷機能をご利用頂くことはできません。
※親展印刷機能を利用されるには、プリンタにHDD(オプション)が装着されている必要があります。

② AutoCreateプリンタ環境として、サーバ/クライアント側にCASIO製プリンタドライバを導入して利用される場合の機能制約

- ・ プリンタドライバにてICM設定をご利用頂くことはできません。

【 Citrix Presentation Server 4.0をご利用の場合、もしくは、Citrix Presentation Server 4.5をご利用されており、かつサーバ/ICAクライアントOSが32bit/64bit混在の場合、さらに下記の制約があります。 】

- ・ AutoCreateプリンタでは、接続毎に装置構成など環境設定が初期導入時と同じになり、サーバ側で設定しても有効になりません。従って、拡張給紙装置や両面機能などをご利用頂くことができません。
これらの拡張装置を有効にしたい場合には、特別なインストールセットが必要です。
必要な場合は、お買い求めになった弊社営業までご相談ください。

- ・ AutoCreateプリンタでは、下記プロパティ設定以外はクライアントプリンタから引き継がれません。

用紙サイズ、解像度、用紙方向(縦、横)、コピー枚数(部単位は除く)、給紙口

また、AutoCreateプリンタでは、最初に接続したとき以下の情報はイニシャルされます。

(1) 印刷書式

あらかじめクライアントプリンタの印刷書式情報を「ファイルに保存」しておき、AutoCreateプリンタで作成されたプリンタにて、印刷書式情報を「ファイル読み込み」してください。

(2) スタンプなどの付加情報

AutoCreateにて作成されたプリンタで再度設定してください。

(3) ユーザ定義サイズ

プリンタドライバで登録したユーザ定義サイズはAutoCreateプリンタに引き継がれませんので、クライアントPCにて再度作成してください。

③ AutoCreateプリンタ環境として、サーバ側でCitrix Presentasion Serverのユニバーサルドライバを利用される場合の機能制約

- ・ クライアントOS環境が、WindowsVista(x86/x64)の場合、以下の機能をご利用頂くことができない場合があります。

「部単位」(*)、「最終頁から印刷」、「BOOK合成(製本綴じ/週刊誌綴じ/自由BOOK合成)」

※「部単位」機能をご利用頂けないのは、カラー印刷かつプリンタにHDD(オプション)未装着である場合です。

モノクロ印刷、もしくはプリンタにHDD(オプション)が装着されている場合には問題ございません。

また、カラー印刷かつプリンタにHDD(オプション)未装着の場合でもプリンタフォルダ⇒プリンタのプロパティ⇒

環境設定の「動作設定」にて「アプリケーション側の部単位と連動する」のチェックを外していただくことで、

部単位機能をご利用頂くことができます。

【ご利用上の注意】

AutoCreateプリンタ機能として、Citrix社のユニバーサルドライバからCASIO製プリンタドライバと同等機能が利用可能です。ただし、ユニバーサルドライバから利用するカシオ製プリンタドライバ機能の全動作を確認しておりません。ご利用になる際は、テスト環境にて動作確認されることをお勧めいたします。

以上